

新エネルギーはどうして必要なの？

- わたしたちの生活は、多くのエネルギーの消費の上に成り立っています。日本は、エネルギー資源のほとんどを輸入に頼っており、将来も安定してエネルギーを確保できるようにエネルギーの自給率を上げることが求められています。
- 石油や石炭などの化石燃料を使ったエネルギーを大量に使用すると、二酸化炭素などの温室効果ガスが増えて地球の温度が上がり、海面上昇や台風の巨大化など地球環境にさまざまな悪影響を及ぼすのではないかとされています。

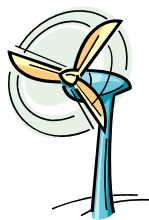
将来のエネルギー資源の問題や地球温暖化への対応として、新エネルギーへの期待が高くなっています。そこで、西原町では、地球環境にやさしい新エネルギーを積極的に導入するため、ビジョン（将来の構想）を立てました。

新エネルギーとは？

新エネルギーとは、自然の力を利用したり、今まで使われずに捨てていたエネルギーを有効利用するなど地球にやさしいエネルギーです。新エネルギーを西原町に導入することによって、化石燃料（石油や天然ガスなど）の消費が軽減され、それに伴う二酸化炭素の排出量を減らすといったことができます。

西原町で考えられる新エネルギーには以下のようなものがあります。

太陽光発電	太陽熱利用	風力発電	バイオディーゼル燃料（BDF）	バイオマス由来発電・熱利用
太陽電池を使って、太陽の光エネルギーを直接電気に変えます。	太陽光の熱エネルギーを利用して、給湯や暖房等に利用するものです。	風の力で風車をまわし、その回転運動を利用し発電で電気を起こします。	料理に使った食用油から燃料をつくり、軽油と同じように自動車に使います。	化石資源ではなく、植物や動物から得られるものからエネルギーをつくります。



※ 電気自動車などのクリーンエネルギー自動車については、新エネルギーには分類されませんが、通常のガソリンを使用する自動車に比べ化石燃料の消費や二酸化炭素の排出を減らす効果があるため、新エネルギーと同様に今後導入を拡大図るとされています。